リーグ戦を終えて・・・

硬式テニス部
男子バスケットボール部
男子バレーボール部

「強い意識」生まれ
女子・2部昇格！

女子テニス部の歴史がまた一つ塗り替えられた。2、3部入れ替え戦・日女体大戦は4―3と雨による途中棄権で完封こそ逃したが、貫禄の2部昇格。その内容は今季の3部での戦いと変わらず堂々としたものだった。

振り返れば今年も女子は強かった。3部リーグ戦5試合を通して、失ったポイントはわずかに2。江口監督も「自分たちが強いっていう意識ができてきた」と選手たちの成長を認める。そう語る一方で「(日女体大は)練習の感じとか、3部のチームとは全然違った」と入れ替え戦を振り返った。完勝の中に感じた新たなステージの雰囲気、それはまだ見ぬ2部の舞台を計る物差しとなる。

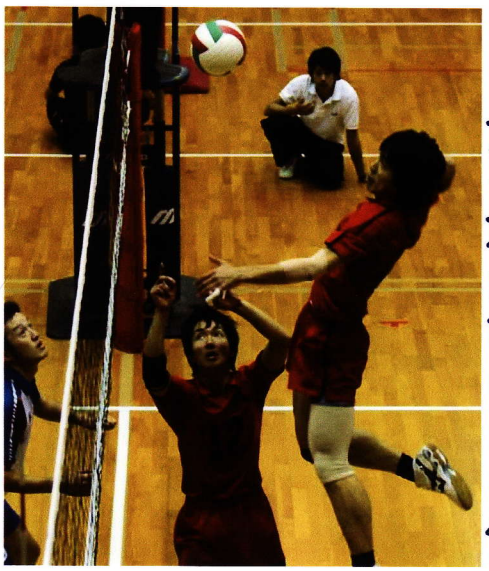
1部経験校も共に戦う舞台、これまで通りにはいかないはずだ。ギリギリの戦いもあるだろう。それでも、彼女たちには期待せずにいられない。河合美香(国1)・松尾日香里(社2)のWエース、インカレで共に1勝を挙げたダブルス2組など個人戦で結果を残している選手を中心とした今季の若い団体メンバーは変動なく来季を迎える。加えて、今季の活躍に刺激された有望な新入生の加入も望める。『上昇』軍団はまだまだ強くなる。

時をほぼ同じくして、男子も入れ替え戦で3部校千葉商大を下し2部残留を決めた。来季は男女とも2部で上を目指す戦いが始まる。

(星 宏樹)

2部昇格の喜びをVサインで表す選手

チーム力欠き
課題残る6位



攻撃面、守備面共に活躍した横山(右)

1部昇格を目指し秋季関東大学バレーボールリーグ戦に挑んだが、6位という春季より順位を1つ落とした結果となった。逆転勝ちで開幕戦を迎え勢いに乗るかと思われたが、そこから3連続ストレート負けを喫す。リーグ後半は、横山慎(地1)の攻守に渡る活躍で4連勝。目標であった上位リーグ入りが目前まで近づいたが、前半の負けが響き惜しくも下位リーグへ。昇格の望みも降格の心配もない状況にチームの士気は下がり、選手同士の連携が取れずミスを連発。「チーム力」の課題を残し、無念のまま終わった。

(渡辺 悠)

開幕好発進も
入替戦出場ならず

3ポイントを量産しチームに貢献した相川

関東大学バスケットボール3部Aリーグ戦は無傷の7連勝でスタートした。初戦は東経大。序盤から余裕のある試合運びを見せ、35 得点差で圧勝した。そして今季、チームで抜群の攻撃力を見せたのが相川雄貴(営3)だ。最大の武器は正確な3ポイントシュート。この飛び道具が7つの白星を重ねたと言っても過言ではない。しかしリーグ終盤になり順大に2敗し、入替戦出場が残り試合全勝という厳しい条件に見まわれる。負けられない国士大戦では、格上に力の差を見せつけられ大敗。入替戦出場の夢は途絶え、リーグ3位の結果に幕を閉じた。

(梅田 晶衣)

いつも駒大スポーツをご愛読頂き、誠にありがとうございます。m‘U’eバックナンバー等をご希望の方は下記の連絡先までご連絡をお願い致します。
Email komaspoar@yahoo.co.jp

発行責任者：近藤健吾
スタッフ：大沼史佳、澤田衣里、鈴木陽子、土屋春佳、星宏樹、渡辺悠、佐藤吉恵、梅田晶衣、加藤優美、瀬田まりこ、綱川賢人